

外国人留学生修学援助金交付申請書

一般財団法人 東北開発記念財団
代表理事 山形孝夫 殿

貴財団の修学援助金の交付を受けたいので、申請します。

年 月 日

申請者署名 _____

写真添付
6か月以内の
上半身のもの

新規の申請	継続の申請 (平)
氏名(カタカナ)	_____
(ローマ字)	_____
(母国語)	男・女
国籍	生年月日 19 年 月 日 才
母国の住所	_____
現住所	〒 _____ Tel. () - (自宅・呼出し) e-Mail @ _____
所属	在籍大学 _____ 年 月 入校
	大学院 _____ 研究科 _____ 専攻
	修士課程 _____ 年次
	博士(後期)課程 _____ 年次
所属する研究室等(連絡先)の電話 () - _____	
研究を指導する地位にある者(指導教員)	
職・氏名	_____
研究室名	_____
専門等	_____
在籍大学における進学の課程と将来の計画	
(課程)	(期間)
学士課程	_____年 月~ _____年 月
研究生	_____年 月~ _____年 月
修士課程	_____年 月~ _____年 月
博士(前期)課程	_____年 月~ _____年 月
博士(後期)課程	_____年 月~ _____年 月
現在本人が他の団体から受けている援助	
受給団体名 _____	援助金名称 _____
援助金月額 _____ 千円	受給期間 _____年 月~ _____年 月
他の団体の援助への応募状況	
団体名 _____	援助金額 _____ 千円

身 上 書

氏 名 _____ (年 月 日に来日)

1 配偶者

有	フリガナ		妻・夫	同居・別居
	配偶者氏名		生年月日 19 年 月 日	才
無	勤務先または在籍校			
	現在受けている奨学金等	受給団体名	援助金名称	
		援助金月額	千円	受給期間 年 月～ 年 月

(注) 学校在籍の場合は、学校名のほか、学部・研究科・課程・年次などについても、具体的な内容が分かるように記載して下さい。

2 経済状況 (1か月の平均収入・支出額)

収入額	金額(千円)	備 考	支出額	金額(千円)	備考 (○で囲む)
仕送り月額			家賃月額		借家、下宿、寮 アパート、公営住宅
本人収入月額					
他団体からの援助月額 (本人又は配偶者の奨学金等)		受給団体 受給期間	授業料月額		全額納付 半額免除 全額免除 免除申請中
その他			その他		
合 計			合 計		

3 本人の略歴

年 月	学歴・職歴・資格	年 月	学歴・職歴・資格

(注) 母国における最終学歴(大学以上は全部)、主な職歴、来日後現在の在籍大学に至るまでの経歴(宮城県外の学校在籍等)について記載して下さい。

4 家族状況

氏 名	続柄	年齢	住 所	勤務先または学校名

5 援助金交付の際の振込先

振込銀行	銀行	本・支店	口座名義人	
口座番号	No.		(加付)	

推薦書

一般財団法人 東北開発記念財団
代表理事 山形孝夫 殿

申請者記入欄	被推薦者氏名		国籍	男・女
			生年月日	19 年 月 日
	所属	在籍大学		
		大学院	研究科	専攻
修士課程			年次	
	博士(後期)課程		年次	
推薦者記入欄	留学の目的と計画			
推薦者記入欄	推薦者			
	職・氏名		印	
	研究室名	・専門等		
推薦者記入欄	学修の態度、成績			
推薦者記入欄	推薦理由			
推薦者記入欄	被推薦者の今後の資格等の取得見込み			

研究計画書

氏名			
在籍大学			
研究科・専攻		課程年次	
研究の課題			
研究の目的			
研究の概要			
研究の具体的な内容、方法、進め方(主なスケジュール)			

提出書類作成要領

奨助金の交付を申請する場合は申請書類を、また奨助期間の終了時には報告書を、それぞれ本財団に提出することになっております。これらの提出書類を作成するにあたっては、次のことに留意して下さい。

- (1) 申請書類は、すべて整え、記載事項に洩れがないことを必ず確認する。
- (2) 報告書は、提出期限に遅れないように作成する。
- (3) これらの提出書類は、特別の理由がない限り、日本語で明瞭に記載する。

次に、申請書・計画書・報告書を作成するにあたっての留意事項、記載方法を掲げますので、これを参考として、提出書類を作成して下さい。

○外国人留学生修学奨助金交付申請書、身上書

1 一般的留意事項

- (1) 申請書は基本となる書類ですから、記載事項を洩れなく、正確かつ明瞭に記載して下さい。
- (2) 書き終わったら、脱字・誤字がないか、他の文字・数字と見誤ることがないかを確かめて下さい。

2 事項別記入要領

(1) 新規の申請、継続の申請

いずれか該当する方を ○ で囲み、継続の申請の場合は、本財団から奨助を受けた年度を()内に記入して下さい。(例えば、平成21年度にこの奨助を受けた場合は、()内に「平21」と記載します)

(2) 氏名

氏名は、カタカナ、ローマ字、母国語で、それぞれ正確かつ明瞭に書いて下さい。カタカナ、ローマ字は、できる限り、母国語の読み方で書いて下さい。またローマ字欄は、英字またはローマ字化して記載して下さい。

(3) 所属

大学院学生の所属、専攻、課程、年次の内容が分かるように記載して下さい。

(4) 在籍大学における進学の課程と将来の計画

現在の在籍大学におけるこれまでの進学の課程を含め、今後進む予定の課程の専攻、所要期間を記入して下さい。

宮城県外の大学の課程に進む予定である場合は、記入する必要がありません。

(5) 奨助金交付の際の振込先

口座名義人欄は、銀行に届け出ているカナ氏名を正確に書いてください。

○研究計画書

1 一般的留意事項

計画書は、大学で留学生が専攻する研究について、その研究の対象・内容・方法・進め方等が分かるように、できるだけ具体的にかつ簡潔に記載して下さい。

2 事項別記入要領

(1)研究の課題

研究の内容を適切かつ簡潔に表現する題目を記載します。主題だけで内容の要約が充分でない場合は、副題をつけても差し支えありません。

(2)研究の目的

研究の趣旨、目的について記載して下さい。

(3)研究の概要

研究の全体構想、その主な内容と期待される成果等について記載して下さい。

(4)研究の具体的な内容、方法、進め方(主なスケジュール)

本年度に行う研究の対象・内容・方法(実験、実態調査、文献調査等)・場所・時期・期間等について、できる限り具体的にかつ簡潔に記載して下さい。

○報告書

1 一般的留意事項

報告書は、申請時には必要ありません。

援助対象者は本財団の援助期間終了後、本年度の学修・研究の実績等について、その内容が分かるように、できるだけ具体的にかつ簡潔に記載して下さい。

2 事項別記入要領

(1)学修、研究の概要と成果

本年度に実際に行った学修、研究の内容の概要と成果について記載します。計画と異なっても、実行したものについて記載して下さい。

(2)今後の研究計画

計画の継続、新規の計画等について簡潔に記載して下さい。

以 上